

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日
上場取引所 大

上場会社名 東洋合成工業株式会社
コード番号 4970

URL <http://www.toyogosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 木村 有仁
(氏名) 金子 順一

(TEL) 03-3548-4970

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第3四半期 | 10,708 | 1.8 | 213 | △66.2 | 131 | △74.0 | 96 | △76.9 |
| 24年3月期第3四半期 | 10,520 | △5.4 | 631 | △30.6 | 504 | △30.8 | 418 | △36.6 |

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 55百万円(△86.5%) 24年3月期第3四半期 411百万円(△37.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第3四半期 | 12.16 | — |
| 24年3月期第3四半期 | 52.68 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年3月期第3四半期 | 28,809 | 6,558 | 22.8 |
| 24年3月期 | 25,898 | 6,581 | 25.4 |

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 6,558百万円 24年3月期 6,581百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 3.00 | — | 3.00 | 6.00 |
| 25年3月期 | — | 3.00 | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | — | — | 3.00 | 6.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-------|------|-------|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 15,000 | 7.5 | 120 | △81.3 | 20 | △96.2 | 0 | — | 0.00 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 25年3月期3Q | 8,143,390株 | 24年3月期 | 8,143,390株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年3月期3Q | 205,967株 | 24年3月期 | 190,867株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 25年3月期3Q | 7,950,711株 | 24年3月期3Q | 7,952,548株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| (5) セグメント情報等 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(9か月)の世界経済は、住宅着工件数の増加等、個人消費が回復基調にある米国経済が穏やかな成長を持続する一方、欧州は、景気後退が続くものの、市場の緊張はやや緩和されました。また、リーマンショック後の世界経済をけん引してきた中国においても、一時成長減速が鮮明となったものの、足元では景気指標に改善傾向が見られるなど、未だ不透明感を残すものの、やや明るさの見える展開となりました。

日本経済は、東日本大震災後の復興需要の本格化並びにエコカー購入支援策による個人消費の増加に続き、政権交代に伴ういわゆるアベノミクスによる円安傾向が景気の下支えとなっているものの、依然として高水準で推移する失業率、財政再建のための将来の消費税増税が足元の個人消費にも微妙な影を落としており、決して景気回復に対して楽観視できない状況が続いております。

このような状況の中、引き続き当社グループは既存顧客との関係強化に加え新たな販路の開拓にも努め、また、新製品の開発や既存製品の拡販にも取り組み、円安による追い風を受けた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,708,679千円(前年同期比+188,274千円、+1.79%)となりました。

損益面では、全社的な経費削減や原価低減活動等のコスト対策を継続したものの、営業利益は213,068千円(前年同期比△418,099千円、△66.24%)、経常利益は131,096千円(前年同期比△373,171千円、△74.00%)、四半期利益は96,666千円(前年同期比△322,305千円、△76.93%)となりました。

【感光性材料事業】

半導体用途向け感光性材料は、円安による追い風に加え、スマートフォンやタブレット端末などを始めとしたより高精細な技術が要求される電子機器の需要拡大に対応することで好調に推移し、液晶用途向け感光性材料は、液晶テレビの需要減速に底打ちが見られ、回復基調になりつつあります。電解液・イオン液体は、引き続き精力的な需要開拓を進め、省エネルギー社会志向のなか、蓄電デバイスを中心に売上高を伸ばしております。

以上の結果、同事業の売上高は5,708,683千円(前年同期比+580,865千円、+11.33%)となりました。

【化成品事業】

香料材料部門は、新興国を中心に需要は底堅く、円安による追い風も受けましたが、新工場稼働に伴い償却負担が増大するなか、アジア諸国を相手とした価格競争にも巻き込まれたことで、売上・利益とも伸び悩みました。

また、グリーンケミカル部門は、高付加価値品と溶剤リサイクルを中心に市場開拓を進め、主に電子材料用途の需要取込みに注力しておりますが、成約に時間を要する高品質材料に需要がシフトしていることから、業績を大きく改善するには至らず、売上高・利益ともに横ばいとなりました。ロジスティック部門は、引き続き顧客満足度の維持・向上に努めた結果、タンク契約率は高水準を維持するとともに、期初低調であった荷動き量も回復の動きを見せ、売上高・利益とも横ばいを確保いたしました。

以上の結果、同事業の売上高は4,999,996千円(前年同期比△392,591千円、△7.28%)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は28,809,589千円となり、前連結会計年度末に比べて2,189,699千円の増加となりました。

流動資産は9,576,309千円で、前連結会計年度末に比べて384,271千円の減少となりました。これは主に現金及び預金247,686千円と商品及び製品141,194千円の減少によるものであります。

固定資産は19,233,280千円で、前連結会計年度末に比べて2,573,970千円の増加となりました。これは主に機械装置及び運搬具2,511,912千円と建物及び構築物978,124千円の増加及び建設仮勘定910,093千円の減少によるものであります。

流動負債は13,003,391千円で、前連結会計年度末に比べて357,892千円の増加となりました。これは主に短期借入金612,453千円の増加によるものであります。

固定負債は9,247,761千円で、前連結会計年度末に比べて1,829,442千円の増加となりました。これは主に長期借入金1,811,967千円の増加によるものであります。

純資産合計は6,558,436千円で、前連結会計年度末に比べて2,364千円の増加となりました。これは主に利益剰余金48,951千円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月9日発表「平成25年3月期 第2四半期決算短信」における通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、リース資産以外の有形固定資産の減価償却の方法については、従来、定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)については定額法)を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、化成品事業における需要動向及び生産状況などの事業環境の変化や、感光性材料事業における技術革新の状況を背景に、生産能力増強に向けた投資へシフトすることから、大型設備投資である香料工場及び淡路工場の建設を契機として、減価償却方法の見直しを行った結果であります。

生産される製品については今後安定的な需要が見込まれており、主要製造設備は将来の耐用年数にわたって安定的な稼動が見込まれていること、また技術的な陳腐化のリスクも少ないことから、每期一定の維持更新投資を行うことにより投資の効果が平均的に生じると考えられるため、より適切な費用配分を行うため定額法が合理的であると判断したことによるものであります。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の減価償却費は565,814千円減少し、売上総利益は381,763千円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ409,774千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,808,927 | 1,561,241 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,574,338 | 2,673,254 |
| 商品及び製品 | 4,228,638 | 4,087,444 |
| 仕掛品 | 126,826 | 106,803 |
| 原材料及び貯蔵品 | 823,527 | 907,207 |
| その他 | 400,947 | 243,050 |
| 貸倒引当金 | △2,624 | △2,690 |
| 流動資産合計 | 9,960,581 | 9,576,309 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 5,609,989 | 6,588,114 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,330,471 | 4,842,383 |
| 土地 | 4,934,536 | 4,934,536 |
| 建設仮勘定 | 2,461,470 | 1,551,377 |
| その他(純額) | 361,385 | 419,896 |
| 有形固定資産合計 | 15,697,853 | 18,336,307 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 18,851 | 16,529 |
| その他 | 388,415 | 311,110 |
| 無形固定資産合計 | 407,266 | 327,639 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 568,815 | 578,194 |
| 貸倒引当金 | △14,626 | △8,861 |
| 投資その他の資産合計 | 554,189 | 569,332 |
| 固定資産合計 | 16,659,309 | 19,233,280 |
| 資産合計 | 26,619,890 | 28,809,589 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,931,646 | 1,979,707 |
| 短期借入金 | 7,423,322 | 8,035,775 |
| 未払法人税等 | 33,816 | 20,815 |
| 賞与引当金 | 240,063 | 109,418 |
| 災害損失引当金 | 45,601 | — |
| その他の引当金 | 20,000 | — |
| その他 | 2,951,050 | 2,857,674 |
| 流動負債合計 | 12,645,499 | 13,003,391 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,884,986 | 7,696,953 |
| 退職給付引当金 | 927,711 | 984,542 |
| その他の引当金 | 107,381 | 111,235 |
| 資産除去債務 | 98,708 | 141,321 |
| その他 | 399,531 | 313,708 |
| 固定負債合計 | 7,418,319 | 9,247,761 |
| 負債合計 | 20,063,818 | 22,251,153 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,618,888 | 1,618,888 |
| 資本剰余金 | 1,541,589 | 1,541,589 |
| 利益剰余金 | 3,488,704 | 3,537,656 |
| 自己株式 | △83,200 | △88,923 |
| 株主資本合計 | 6,565,982 | 6,609,210 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △10,007 | △22,254 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △28,520 |
| その他の包括利益累計額合計 | △10,007 | △50,774 |
| 少数株主持分 | 96 | — |
| 純資産合計 | 6,556,071 | 6,558,436 |
| 負債純資産合計 | 26,619,890 | 28,809,589 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 10,520,405 | 10,708,679 |
| 売上原価 | 8,097,267 | 8,662,595 |
| 売上総利益 | 2,423,137 | 2,046,083 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,791,969 | 1,833,015 |
| 営業利益 | 631,167 | 213,068 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 47 | 38 |
| 受取配当金 | 6,538 | 6,426 |
| 為替差益 | — | 16,944 |
| 技術指導料 | 18,588 | 12,129 |
| 立退料収入 | — | 32,500 |
| その他 | 24,355 | 27,817 |
| 営業外収益合計 | 49,530 | 95,857 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 106,863 | 142,280 |
| 為替差損 | 57,975 | — |
| その他 | 11,591 | 35,548 |
| 営業外費用合計 | 176,430 | 177,828 |
| 経常利益 | 504,268 | 131,096 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 18,406 | 13,523 |
| 固定資産売却損 | 74 | — |
| 特別損失合計 | 18,481 | 13,523 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 485,786 | 117,573 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,738 | 7,858 |
| 法人税等調整額 | 60,546 | 13,144 |
| 法人税等合計 | 67,284 | 21,003 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 418,502 | 96,569 |
| 少数株主損失(△) | △469 | △96 |
| 四半期純利益 | 418,972 | 96,666 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 418,502 | 96,569 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △6,553 | △12,246 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △28,520 |
| その他の包括利益合計 | △6,553 | △40,767 |
| 四半期包括利益 | 411,948 | 55,802 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 412,418 | 55,899 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △469 | △96 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) |
|-----------------------|-----------|-----------|------------|----------|--------------------------|
| | 感光性材料事業 | 化成品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,127,817 | 5,392,588 | 10,520,405 | — | 10,520,405 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 233 | 546,077 | 546,311 | △546,311 | — |
| 計 | 5,128,050 | 5,938,665 | 11,066,716 | △546,311 | 10,520,405 |
| セグメント利益 | 22,770 | 608,397 | 631,167 | — | 631,167 |

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) |
|-----------------------|-----------|-----------|------------|----------|--------------------------|
| | 感光性材料事業 | 化成品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,708,683 | 4,999,996 | 10,708,679 | — | 10,708,679 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 686,201 | 686,201 | △686,201 | — |
| 計 | 5,708,683 | 5,686,197 | 11,394,881 | △686,201 | 10,708,679 |
| セグメント利益 | 2,738 | 210,329 | 213,068 | — | 213,068 |

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計方針の変更」に記載のとおり、当社及び連結子会社の有形固定資産(リース資産以外)の減価償却方法は、従来、定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)については定額法)を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は「感光性材料事業」で156,866千円、「化成品事業」で252,907千円増加しております。